

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置許可年月日		校 長 名		所 在 地			
東日本栄養医薬専門学校		平成15年3月31日		武井 宣之		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-266-3300			
設 置 者 名		設立許可年月日		代 表 者 名		所 在 地			
学校法人 山崎学園		昭和42年4月10日		遠山 巍		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-266-7977			
目 的	学校教育法その他、関係諸法規に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い教育を行い、衛生並びに医療に関する知識技術を習得させ、もって社会公共の福祉に貢献できる人材を育成することを目的とする。								
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の 付与			
医療	医療専門分野	医薬学科	2年(昼間)	1,830単位時間 (又は単位)	平成23年文部科学大 臣告示第166号	—			
教育課程	講 義	演 習	実 験		実 習	実 技			
	1,140単位時間 (又は単位)	330単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)		360単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)			
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80人		23人		3人		6人		9人	
学 期 制 度	■前 期：4月 1日～9月30日 ■後 期：10月 1日～3月31日			成 績 評 価	■成績表 (有)・無 ■成績評価の基準・方法について 授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、卒業までに履修させる授業時間数の履修状況等を総合的に勘案して行う				
長 期 休 み	■学年初め：4月 1日～4月 5日 ■夏 季：7月24日～8月25日 ■冬 季：12月25日～1月 5日 ■学年末：2月28日～3月31日			卒 業 ・ 進 級 条 件	校長が成績評価の基準に従い認定する。				
生 徒 指 導	■クラス担任制 (有)・無 ■長期欠席者への指導等の対応			課 外 活 動	■課外活動の種類 食育、ボランティア他 ■サークル活動 (有)・無				

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 ドラッグストア、病院等</p> <p>■就職率※<sup>1</sup> 100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合※<sup>2</sup> 77.7%</p> <p>■その他（任意） （平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報）</p>	主な資格・検定	<p>■登録販売者</p> <p>■調剤事務管理士</p> <p>■ヘルスケアアドバイザー</p> <p>■販売士検定他</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成28年5月1日在学者 21名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 21名（平成29年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 体調不良・進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 担任制による生徒指導と生活相談</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.c-p.ac.jp/">http://www.c-p.ac.jp/</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本学科は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に等に関する法律（以下「医薬品医療機器法」という）に基づく一般用医薬品取扱者の資質の確認の為に実施される、都道府県知事による「登録販売者試験」受験により有効な実務経験を身に着けるため6か月間の校外実務実習が必修科目となっている。

一般用医薬品販売店舗（ドラッグストア等）における校外実務実習に関しては、各企業と学校との契約により、「登録販売者に必要な実践的な実務内容」の実施を確保している。

実習に関しては、

- ① 学生の実習状況の把握の為、実習ノートの利用や学生からの実習状況の聞き取り等を実施
- ② 企業等との連携は、店舗訪問や企業本部の担当者との情報交換により適正な実習の確保に配慮以上を、企業との連携の2本柱としている。

(教育課程編成委員会の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
武井 宣之	東日本栄養医薬専門学校
外丸 裕子	東日本栄養医薬専門学校
小林 正実	一般社団法人 群馬県薬剤師会
細野 勝美	公益社団法人 群馬県栄養士会
竹村 奈美	株式会社クスリのアオキ
三田 賢亮	株式会社 MFМ
植竹 恵子	東日本栄養医薬専門学校

(開催日時)

第1回 平成29年 6月10日 13:00～

第2回 平成29年10月 7日 13:00～ 予定

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- ① 一般用医薬品販売企業（ドラッグストア・レギュラーチェーン店）本社との間で、校外実務実習の受入覚書を交わし、学生としての身分ではなく、従業員の一員としての実習に重きを置き、現場実務を体験させている。但し、平素の学習に支障をきたさないような学生としての勤務体系の確保にも併せて配慮している。
- ② 担任が、企業等を月1回程度巡回して校外実務実習状況の聞き取りと、改善や要望意見の聴取を実施。更に問題があれば、個別に対応している。
- ③ 学生に日々の実習記録「実習ノート」を作成させ、学生の反省点や改善への意識啓蒙、担当企業職員からの要望、改善等の意見を詳細に確認改善している。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
校外実務実習	登録販売者として、医薬品に関する情報知識を習得し、更に接客技術を向上させる。	一般用医薬品販売業 (ドラッグストア等)

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

座学としては、医薬品の販売に伴う副作用やリスクを念頭において、主に現場経験のある薬剤師（講師）又は現役薬剤師（講師）による授業を確保している。

- 群馬県薬剤師会研修会等への参加、薬品メーカーの勉強会への参加研修を依頼している。

校外実務実習は、実習の担当者として都道府県の試験の条件で、薬剤師又は登録販売者の下での実習と定義付けられている。

- 直接の各担当者は、企業内研修を定期的受講している。

実習指導担当教員は登録販売者とし、実習現場の組織・経営方法等を企業現場訪問を通じて直接研修し、更に、校外実務実習は接客を伴うことから、経験豊富な教員による生徒指導を実施

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年6月1日現在

名 前	所 属
安藤 紀子	東日本栄養医薬専門学校（父母の会会長）
小林 正実	一般社団法人 群馬県薬剤師会
細野 勝美	公益社団法人 群馬県栄養士会
竹村 奈美	株式会社クスリのアオキ
三田 賢亮	株式会社 MFM

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.c-p.ac.jp](http://www.c-p.ac.jp)

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.c-p.ac.jp](http://www.c-p.ac.jp)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(医療専門課程医薬学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			医薬品概論	<p>医薬品の本質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因</li> <li>・副作用、不適正な使用と有害事象、他の医薬品や食品との相互作用と飲み合わせ、小児や高齢者等への配慮、プラセボ効果、医薬品の品質</li> <li>・適切な医薬品選択と受信勧奨</li> <li>・薬害の歴史 医薬品による副作用等に対する基本的考え方、医薬品による副作用等にかかる主な訴訟</li> </ul>	一年次前・後期	30	2	○		
○			人体学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体の構成、細胞</li> <li>・人体の構造と働き</li> <li>・脳や神経系の働き、皮膚・骨・関節・筋肉などの運動器官、目・鼻・耳などの感覚器官、胃・腸・肝臓・肺・心臓・腎臓などの内臓器官</li> <li>・消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系</li> </ul>	一年次前・後期	60	4	○		
○			薬剤学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の働く仕組み</li> <li>・全身作用と局所作用、内用薬と外用薬（体内で薬がたどる運命、薬の体内での働き、剤型ごとの違いと適切な使用方法）</li> <li>・症状からみた主な副作用</li> <li>・全身に現れる副作用、精神神経系に現れる副作用、体の局所に現れる副作用</li> </ul>	一年次前期	30	2	○		
○			薬物学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢方処方製剤、生薬製剤</li> <li>・歯や口中に用いる薬 歯痛・歯槽膿漏用薬、口内炎用薬</li> <li>・禁煙補助剤</li> <li>・滋養強壮保健薬</li> <li>・公衆衛生用薬 消毒薬、殺虫剤・忌避剤</li> <li>・一般用検査薬 尿糖・尿蛋白検査薬、妊娠検査薬</li> </ul>	一年次前・後期	195	13	○		
○			薬事法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改正薬事法、医薬品の販売業の許可、医薬品の定義と範囲と基準、一般用医薬品と医療用医薬品、毒物・劇物、一般用医薬品のリスク区分と情報提供、薬局または店舗における掲示、容器・外箱への記載事項、添付文書への記載事項</li> </ul>	一年次前・後期	30	2	○		
○			医薬品適正安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品の適正使用情報</li> <li>・医薬品の安全対策</li> <li>・医薬品の副作用情報等の収集と評価及び措置、医薬品による副作用等が疑われる場合の報告</li> <li>・医薬品の副作用等による健康被害の救済</li> <li>・一般用医薬品に関する主な安全対策</li> <li>・医薬品の適正使用のための啓発活動</li> </ul>	一年次前・後期	30	2	○		
○			医薬品論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬害の歴史、裁判化学の領域、毒物の分類</li> <li>・毒物分析に用いられる技術・機器、裁判化学と薬物代謝、毒物の生体内運命、毒物の代謝、薬物代謝と毒性</li> <li>・有毒ガス、揮発性毒物、不揮発性有機化合物</li> <li>・有毒性元素</li> </ul>	二年次後期	30	2	○		

○		医薬品販売論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品販売概論</li> <li>・薬事法施行規則、構造設備・体制</li> <li>・くすりの歴史</li> <li>・医薬品のできるまで 開発・製造</li> <li>・医薬品と医療倫理</li> <li>・医薬品業界、流通 (ドラッグストア)</li> </ul>	二年次後期	30	2	○		
○		試験対策ゼミ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問の分析</li> <li>頻出問題のチェック・確認</li> <li>新出問題の確認等 傾向と対策</li> <li>・苦手分野の洗い出し等</li> <li>問題を通じて確認する。</li> </ul>	二年次前期	240	16	○		
○		漢方概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病態と治療</li> <li>・漢方の診察方 望診・問診・問診・切診</li> <li>・薬物学 (主な漢方方剤群)</li> <li>・漢方方剤薬理作用</li> <li>・生薬と副作用、漢方方剤と副作用</li> <li>・相互作用</li> <li>・服薬指導</li> </ul>	二年次前期	30	2	○		
○		医療事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤の基礎知識</li> <li>・医療概論</li> <li>・医事コンピュータ コンピュータ入力・操作</li> <li>・医療関係法規 医療保険制度</li> <li>・調剤報酬 調剤報酬明細書 (レセプト) の作成や受付業務</li> <li>・検定対策講座</li> </ul>	二年次後期	75	5	○		
○		コンピューター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WORDの基礎知識</li> <li>・ワード入門 起動・終了、画面構成、文字の入力、文章の入力・訂正、保存、文書の作成</li> <li>・ワードの活用 編集機能、表の編集、ビジュアルな文書、POPの作成</li> <li>・エクセル入門 データ入力の基礎、基本的なワークシートの編集・書式設定、グラフの作成・設定の変更</li> <li>・エクセルの活用 関数</li> </ul>	二年次後期	30	2	○		
○		登録販売者入門		一年次前・後期	30	2	○		
○		登録販売者の責務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録販売者とは</li> <li>・一般用医薬品について</li> <li>・効能と副作用について</li> <li>・説明責任について</li> <li>・類似薬品の消費者への提示について</li> <li>・脱法ドラッグ・購入品の量</li> </ul>	二年次前期	30	2	○		
○		健康とアンチエイジング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の病態と治療</li> <li>糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症</li> <li>・整形外科領域疾患の病態と治療</li> <li>・消化器、呼吸器疾患の病態と治療</li> <li>・婦人科、泌尿器科疾患の病態と治療</li> <li>・殺菌、消毒について</li> <li>・老化とは アンチエイジングと生活習慣、アンチエイジングドック、アンチエイジングサプリメント</li> </ul>	二年次後期	30	2	○		
○		POPデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・POPとは</li> <li>・用具用材について</li> <li>・POP広告の要素、種類 ゴシック風文字、デザイン文字</li> <li>・レイアウト、イラスト、色彩について イラスト、ショーカード、プライスカード制作</li> <li>・キャッチコピーとは</li> <li>・立体POP広告制作</li> </ul>	一年次後期	30	2	○		

○		人材育成論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション技法、敬語について</li> <li>・仕事の基本とビジネス文書</li> <li>・一般教養</li> <li>・経済環境の変化と企業</li> </ul>	一年次後期・二年次前期	30	2	○		
○		栄養学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素とは エネルギーと三大栄養素について</li> <li>・ビタミンについて 脂溶性ビタミン、水溶性ビタミン</li> <li>・ミネラルについて ナトリウム、カルシウム、鉄など</li> <li>・食事摂取基準とライフステージ別栄養</li> <li>・食事摂取基準とは ライフステージ別栄養について</li> </ul>	二年次後期	30	2	○		
○		健康食品学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穀類、イモ類の特性とその加工品</li> <li>・種実類の特性とその加工品</li> <li>・豆類の特性とその加工品</li> <li>・野菜類、果実類の特性とその加工品</li> <li>・キノコ類、藻類の特性とその加工品</li> <li>・魚介類の特性とその加工品</li> <li>・食肉類の特性とその加工品</li> <li>・卵類、乳類の特性とその加工品</li> </ul>	二年次後期	30	2	○		
○		ビジネスマナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナーについて</li> <li>・自己紹介・あいさつ・身だしなみ</li> <li>・敬語</li> <li>・二重敬語、使い分け、名詞の尊敬、謙譲</li> <li>・電話対応、来客対応</li> <li>・受付、案内、上座・下座について</li> <li>・紹介マナー、名刺交換</li> </ul>	二年次後期	30	2	○		
○		ヘルスケア基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品の定義・概要・管理</li> <li>・栄養・食生活・運動・病態生理</li> <li>・ドラッグストアの対応に関する知識・技術</li> </ul>	一年次前期	120	8	○		
○		ヘルスケア応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスケアに関する実践知識</li> <li>・体の症状とヘルスケア</li> </ul>	一年次後期・二年次前期	165	11	○		
○		販売士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小売業の種類</li> <li>・マーチャンダイジング</li> <li>・ストアオペレーション</li> <li>・マーケティング</li> <li>・販売・経営管理</li> </ul>	二年次前期・後期	75	5	○		
○		ハーブと健康		二年次後期	30	2	○		
○		体育		二年次前期・後期	30	2	○		

○			校外実務実習	・登録販売者試験の受験資格のうち、実務要件を満たすための実習、薬事法に定められた要件を満たすよう各店舗にて実習	一年次後期	360	9			○
合計				26科目	1830単位時間( 107 単位)					